

## 令和4年度「英語表現Ⅱ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科	外国語	英語表現Ⅱ	2	必修
<b>教科書</b>	be English Expression II (いっいずな書店)				
<b>副教材</b>	アップリフト英作文入試標準 READING CORE for共通テスト スマートレクチャーコレクションAdvanced				

### 学習の目的

- 1 場面に応じて、文法や語彙を積極的に活用し自分の考えを書いたり、話す人材に育つ。
- 2 他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができる人材に育つ。

### 学習の目標

<b>I</b> 【習得】の段階 知識・技能	場面に応じて、自分の考えを書いたり、話すための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。
<b>C</b> 【活用】の段階 思考・判断・表現	場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話すことができる。
<b>E</b> 【探究】の段階	他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考え、身の回りや世界の諸問題を解決するために行動することができる。

つけたい力	みつめる力	要約する力・課題に気づく力・語彙力・文法力・段取り力
	きわめる力	タイムマネジメント力・実践力・行動力・協働力
	つなげる力	共感力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力

### 評価方法

		I	C	E
◇	1学期・2学期・学年末考査を実施します。大学入試個別試験に対応できる記述問題で「思考を促す問題（思考判断表現）」に関する記述問題を出題します。	○	○	
◇	知識・技能に関しては、二高ICEモデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。	○	○	
◇	インタビュー形式によるスピーキングのパフォーマンステストを実施する。		○	○
◇	プレゼンテーションやライティングなどのパフォーマンステストを実施する。		○	○

### 履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に予習し、授業に臨むこと。
- ◇ 毎日の授業の振り返りを徹底し、内容の定着を確実にすること。
- ◇ 学習時間を確保し、継続した学習を意識すること。
- ◇ 常に入試本番を意識し、設定時間や条件を頭に入れて問題に当たること。
- ◇ 日々の学習に必ず音読を入れる。

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I : 知識理解	C : 思考判断表現	E : 学びに向かう力・人間性等
第1学期	4	第1文型(SV)・第2文型(SVC) 第5文型(SVOC) 無生物主語の文	・日常的な話題や社会的な話題について、主題を設定し、様々な種類の文章を100語～120語程度の英文で書くことができる。		次のことについて意見交換、エッセイライティング、リサーチ、ディベート、プレゼンテーションを行う。			
	5	Itの構文 不定詞 動名詞	・多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えることができる。	中間考査	・日本文化について ・インターネット社会について			
	6	受動態 時制 助動詞	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。	期末考査	・うそをつくことについて ・勉強方法について			
	7	条件文と仮定法 名詞節 関係詞	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、英語の音声的な特徴を考慮しつつ情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	パフォーマンステスト	・大学生活について ・携帯電話の使用について			
第2学期	9	名詞を修飾する表現 時間や数の表現 否定	・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。					
	10	比較 付帯状況 接続詞		中間考査				
	11	強調・倒置・挿入 頻出構文		学年末考査				
	12	マーク型問題演習	「情報を読み取る力」「書き手の意図を把握する力」「概要や要点をとらえる力」「情報を事実と意見に整理する力」などを問題演習を通して身につける。					
第3学期	1	記述型問題演習	思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。	共通テスト				
	2			国公立大前期試験				

※行事等で変更になる場合があります。